



PS とうしん

～東通原子力発電所だより～ 2010.9.26

東北電力(株)東通原子力発電所 青森県下北郡東通村大字白糠字前坂下34-4
TEL(代表) 0175(46)2225
ホームページ <http://www.tohoku-epco.co.jp>

さらなる安全・安定運転を目指して ～耐震裕度向上工事、耐震安全性評価を進めています～

東通原子力発電所では、安全を最優先に、地域の皆さまから信頼していただける原子力発電所を目指して、日々、さまざまな取り組みを行っております。今回は、現在行っている耐震に関する発電所の取り組みについて、ご紹介いたします。

排気筒の耐震裕度向上工事を行っています

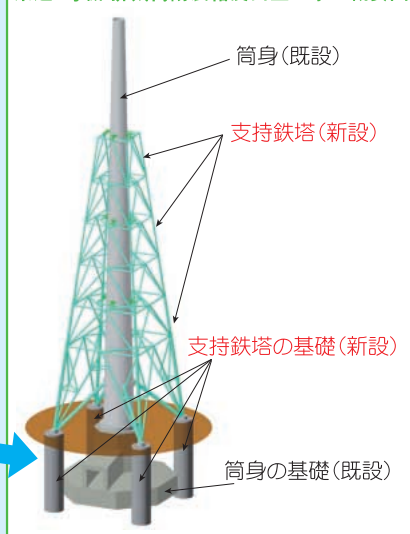
当発電所では、耐震安全性をより一層高めていくため、自主的に設備の耐震裕度向上工事を行っており、これまで、安全上重要な配管・電路類の支持構造物など約1,900カ所の工事を完了しています。

現在、既設の排気筒を支える支持鉄塔を建設する工事を進めています。8月末現在での工事進捗率は基礎工事が68.8%、全体で25.9%となっており、平成24年7月の竣工を予定しています。



現在、支持鉄塔の基礎部分の新設する工事をしています

東通1号機 排気筒耐震裕度向上工事の概要図



深い場所では約9mにもなります



9月9日 報道機関の方へ現場を公開しました

発電所敷地内の地質を調査しています

当社は、国の「耐震設計審査指針」の改定に伴う東通原子力発電所の耐震安全性評価の中間報告を、平成20年3月に原子力安全・保安院に報告しております。

中間報告における、敷地内断層評価は適切であると判断しておりますが、更なる地質データの拡充を図るとともに、評価の説明性を向上させるため、現在、敷地内の断層を横切るように溝を掘り、溝の壁面に現れた断層部と断層周辺の地質を観察し、断層の過去の活動履歴を確認しています。

☆発電所一口メモ☆ 原子力発電所の排気筒とは・・・

排気筒は、建屋の換気をした空気やタービンなどの施設から排出される気体の放射線量を連続的に測定し、安全であることを確認しながら大気へ放出する設備です。東通原子力発電所1号機の排気筒の高さは111m、階段は519段、直径は下部が約8m、上部が約3mとなっています。

発電所トピックス1 見る者の心を魅了するプロの迫真の演技に感動！ 『演劇鑑賞教室』開催

東通原子力発電所は、8月27日(金)、東通中学校体育館において、東通小学校5、6年生および東通中学校全生徒を対象に、東北電力東通原子力発電所 次世代支援プロジェクト「演劇鑑賞教室」を開催しました。

今回は、芸術に接することで、子どもたち一人ひとりの情感豊かな心を育み、健全な育成の一助となることができればとの思いから、日本全国で活躍されている「劇団民話芸術座」を招いて「演劇鑑賞教室」を開催したものです。

「演劇教室」と「演劇上演」の二部構成で行い、第一部の「演劇教室」では、腹式呼吸や滑舌など演技の基礎訓練を行ったあと、4人の学校代表の子どもたちによる、照明と音楽の演出と共に本編の予告となる朗読劇を行いました。



物語の世界へ入り込む子どもたち



素晴らしい演技をみせてくれた
竹林結依さん(写真:左)

第二部の「演劇上演」では、手塚治虫原作の『雨ふり小僧』を鑑賞しました。美しい音楽や照明を使いながら情感豊かに表現した芝居をみて、子どもたちは目を輝かせながら物語に入り込んでいました。

また、東通中学校3年生竹林結依さんが子役として特別出演し、プロ顔負けの演技を披露していただきました。

演劇終了後、子どもたちからは、「やっぱりプロはレベルが違う」、「最後のシーンは思わず胸に込み上げてくるものがあった」、「本当に素晴らしい演技をありがとう」などの感想が聞かれました。



「放課後ひびき」は、地域の未来を担う子どもたちが、のびのびと成長できる環境づくりのために、東北電力が取り組む次世代支援プロジェクトの総称です。



大きく口を開け、お腹から声を出す感じで！



迫力ある演技を間近で鑑賞

発電所トピックス2 電力企業体チーム「風舞翔吹(かさまいしょうふう)」エネルギッシュな舞を披露する！

8月29日に開催された「ひがしどおり来さまいフェスタ2010・よさこい下北」に、当発電所員、東京電力、関連企業の方々、総勢70名による、よさこいチーム『風舞翔吹』が参加しました。炎天下での演技となりましたが、東通の夏を盛り上げようと、チーム一丸となって躍動感ある舞を披露いたしました。

今後も、地域の行事に積極的に参加し、皆さまとのふれあいを大切にしていまいります。



たくさんのご声援ありがとうございました